

ツールズ洗濯機用混合栓
ツールズ万能ホーム混合栓

施工・取扱説明書

- 施工・ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工・ご使用ください。
●施工後、この説明書をお客様へお渡しください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

本製品について 各部の名称

Diagram showing various parts of the faucet: 逆止弁 (check valve), 偏心管 (eccentric pipe), 洗濯機用ニップル (オートストッパー付) (washer nipple), 万能パイプ (universal pipe), ストレートタイプ (straight type), ストレーナ付逆止弁 (strainer check valve), 偏心管 (eccentric pipe), 水抜本体 (water tap body), 凍結のおそれがある場合に水抜部をまわして水栓内部の水を抜きます (turn the water tap body to drain the water from the faucet interior when there is a risk of freezing).

施工について 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明
注意 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
「注意しなさい!!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
「分解してはいけません!」
「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

注意
修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や水漏れの原因になります。
湯水を逆に配管しないでください。正常に作動しないため、やけどをする事があります。なお、逆配管の場合は逆配管アダプター(別売)を使用する事で、逆配管でも表示通りに湯水を使用する事ができます。参照: 施工手順
給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
同梱の部品以外は使用しないでください。故障や水漏れの原因になります。
洗濯機などに接続する場合は、接続機器の使用最高温度を確かめてから接続してください。使用最高温度より高い温度で使用する、接続機器が破損したり服の繊維を傷めるおそれがあります。(服などの洗濯取扱い表示に従って温度を設定してください。)
(寒冷地用の場合)
凍結が予想される場所でご使用になる場合は「寒冷地用の水抜方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。参照: 凍結予防について/寒冷地用の場合(水抜方法)

施工について 適切な使用条件

Table with 3 columns: 給水・給湯圧力, 最低必要水圧(流動時), 最高使用水圧(静止時). Values: 0.05MPa, 0.75MPa.
給湯機について: 使用最高温度 85℃以下
給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。誤操作などによるやけど防止のため、42~60℃給湯をおすすめします。給湯に蒸気を使用しないでください。
【水質・用途について】: 使用可能水質 水道水及び飲用可能な井戸水, 用途 一般住宅用

施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
●明組、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
●配管内のシールトテープくずやゴミをきれいに取り除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

施工について 施工手順

A 古い水栓の取りはずし
1 元栓を開けて、水を止めます。元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。
2 古い水栓本体をはずします。偏心管のナットを交互に少しずつゆるめて取りははずします。
3 古い偏心管をはずします。偏心管をタオルなどであてがい、湯側、水側ともに手で左にまわしてははずします。
戸建て住宅などの元栓ボックス: キー式, ハンドル式
マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス: 主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスなどのメーターと共に水道メーターと元栓があります。

5 偏心管の取付回転を確認します。偏心管を湯側・水側に分けて配管に取付け、何回転で止まるか回数を確認します。

3 古い偏心管をはずします。偏心管をタオルなどであてがい、湯側、水側ともに手で左にまわしてははずします。手でもわすれない場合はモンキーレンチなど工具を用います。モンキーレンチなどが滑らないようにしっかりと偏心管にはさんでまわしてください。

3 古い偏心管をはずします。偏心管をタオルなどであてがい、湯側、水側ともに手で左にまわしてははずします。手でもわすれない場合はモンキーレンチなど工具を用います。モンキーレンチなどが滑らないようにしっかりと偏心管にはさんでまわしてください。

2 古い水栓本体をはずします。偏心管のナットを交互に少しずつゆるめて取りははずします。偏心管側がナットが付いている場合は右、本体側にナットが付いている場合は左にまわします。

4 配管内(ザルボ)の掃除をします。配管内(ザルボ)のシールトテープくずやゴミをきれいに取り除きます。
5 偏心管の取付回転を確認します。偏心管を湯側・水側に分けて配管に取付け、何回転で止まるか回数を確認します。

4 配管内(ザルボ)の掃除をします。配管内(ザルボ)のシールトテープくずやゴミをきれいに取り除きます。

逆配管の場合
通常の配管は向かって左側が湯、右側が水ですが、逆配管は向かって左側が水、右側が湯になっています。このような場合は水を出そうとしても湯が出て、やけどをする事があります。下記の方法を行って、逆配管でも使用できるようにしてください。

6 偏心管にシールトテープを巻きます。ねじに向かって右向きに、10回程度少し引っ張りながら、ねじにくい込むように巻き、そのまま引きぎります。

7 偏心管を仮固定します。偏心管をタオルなどであてがい、湯側・水側ともに右にまわして入れます。手順5で確認した偏心管の少ない方の回転数より1回転少ない位置まで、湯側・水側ともにまわして止めておきます。

8 水栓本体を取付けます。(1)水栓本体と偏心管の間に、逆止弁コア(寒冷地用はパッキン)が入っている事を確認し、水栓本体がまっすぐになるように偏心管を調節しながら手でナットを締付けていきます。

9 ガタツキ・水漏れチェックをします。接続後、各部にガタツキがないか必ず確認してください。ガタツキの確認後、元栓を開いて各部に水漏れがないか必ず確認してください。水漏れがある場合は、もう一度ははじめからやり直してください。最後に産金を壁面に締付けて完了です。

ご使用について ご使用に関する安全上のご注意
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告
注意
「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
「注意しなさい!」(上記の「警告」「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
「分解してはいけません!」
「指示した場所に触れてはいけません!」
「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

警告
小さいお子様だけのご使用は、避けてください。やけど・けがをされるおそれがあります。

注意
製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や水漏れの原因になります。

⚠ 注意

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
参照：凍結予防について/一般用の場合

●水栓の左側には直接肌を触れないでください。
給湯側のため高温になっており、やけどをすることがあります。
●高温の湯をお使いのときは、吐水口に直接肌を触れないでください。
吐水口は高温になっているのでやけどをすることがあります。

(万能ホーム混合栓タイプの場合)
常にホースに圧力がかかる機器には使用しないでください。(全自動洗濯機など)
水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
2槽式洗濯機での使用をおすすめします。

(給湯器の設定温度について)
給湯温度は最高85℃まででお使いください。
85℃より高温で使用になると器具の寿命が短くなります。
なお、誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。

湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをすることがあります。

定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ハンドルは、ゆっくり回してください。
ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。
やけどのおそれがあります。

解氷機やアースを水栓に通電しないでください。
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

(寒冷地用の場合)
凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
参照：凍結予防について/寒冷地用の場合(水抜き方法)

(寒冷地用の場合)
水抜き部は水抜き以外の目的で開けないでください。
水抜きをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

洗濯機などを使用しない時は、ハンドルを閉めてください。
給水ホースがはずれて漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

洗濯機などに接続する場合は、接続機器の使用最高温度を確かめてから接続してください。
使用最高温度より高い温度で使用しますと、接続機器が破損したり線の繊維を傷めるおそれがあります。
(服などの洗濯取扱い表示に従って温度を設定してください。)

ホース接手を本体のニップルに確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

給水ホースをはずす際は、必ずハンドルを閉めてください。
給水ホース内の水が出て、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。特に給水ホース内に圧力がかかっている場合は水が吹き出すおそれがあります。
洗濯機などに取付けている場合は、一旦、作動(給水スタート)して、給水ホース内の圧力を逃がしてから、給水ホースをはずしてください。

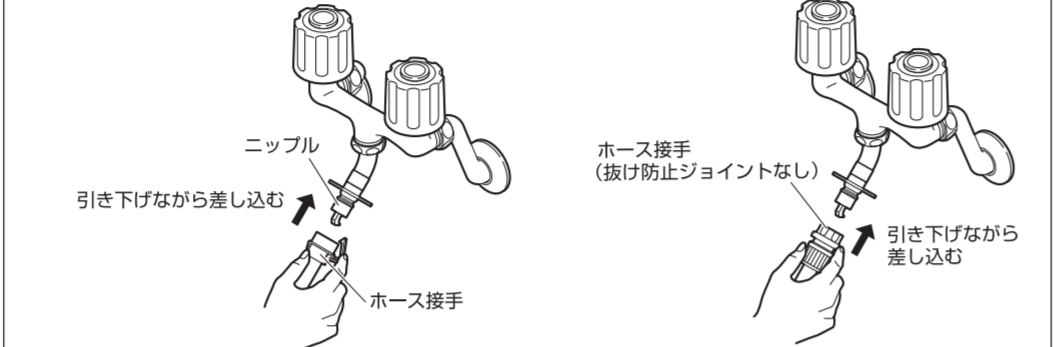
ご使用について 洗濯機給水ホースの適合について

洗濯機用ニップルは日本電機工業規格(JEM1206)に基づいた給水ホースの接続を対象としております。
抜け防止ジョイントのない旧式の給水ホースには接続できない場合があります。その場合はSANEI自動洗濯機ホースを別途お求めください。
(東芝製品の1989年10月までの全機種、NEC・サンヨー製品の1992年6月までの全機種には適合しません。)

2槽式洗濯機で給水ホース接手のない場合はSANEIホースナット付ジョイントを別途お求めください。
常にホースに圧力がかかる機器には使用しないでください。
ホースが抜けた場合に家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

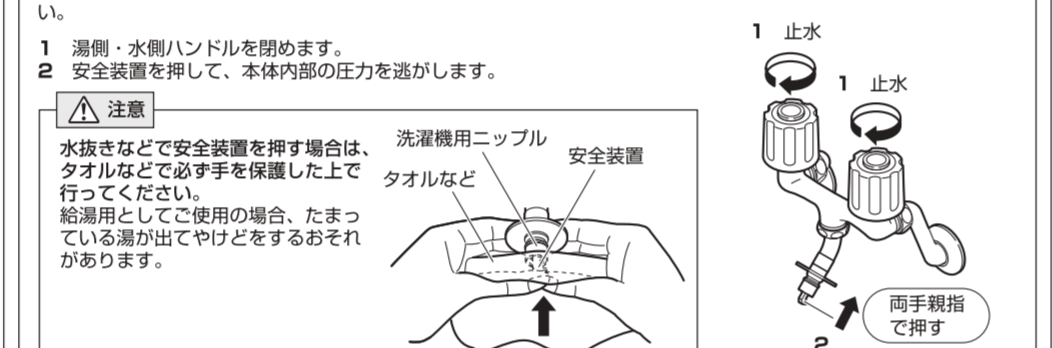
ご使用について 給水ホースの接続と吐水・止水

給水ホースの接続
1 ホース接手をニップルヘカッチと音がするまで差し込みます。
2 給水ホースを引っ張って抜けない事を確認します。

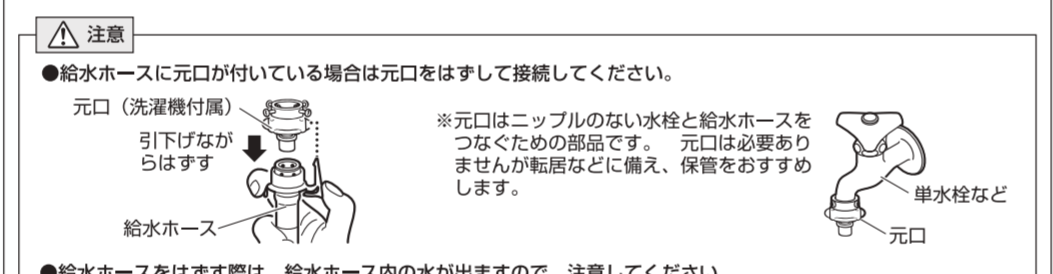


■オートストッパー(安全装置)について
使用中にホース接手がはずれても、オートストッパーが働いて通水しない機構になっています。
(ただし、給水ホース中の破損はオートストッパーが働かせません。)

通水状態や本体内部に圧力がかかっている場合、給水ホースを取付ける事ができません。
給水ホースを取付ける事ができない場合は、下記の操作を行ってください。



●給水ホースに元口が付いている場合は元口をはずして接続してください。
元口(洗濯機付属)



●給水ホースをはずす際は、給水ホース内の水が出ますので、注意してください。

■万能ホーム混合栓タイプの場合

1 万能ホームパイプに元口(洗濯機付属)を接続します。
2 給水ホースを引っ張って抜けない事を確認します。



※元口の取付方法については元口に同梱の説明書をお読みください。

吐水・止水

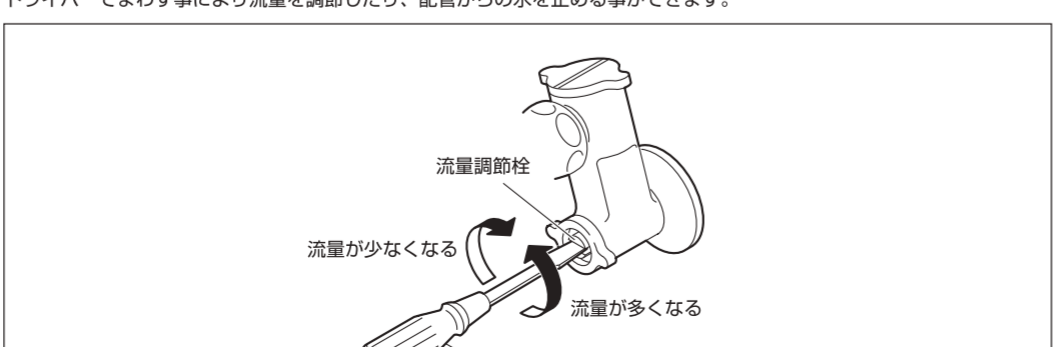
ホース接手を接続後、ハンドルを開けて通水します。
(注)洗濯機などを使用しない時は、ハンドルを閉めてください。

■ハンドル半周程度で全開になります。



ご使用について 流量調節(流量調節栓付の場合)

ドライバーでまわす事より流量を調節したり、配管からの水を止める事ができます。



凍結予防について 一般用の場合

一般用でも凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

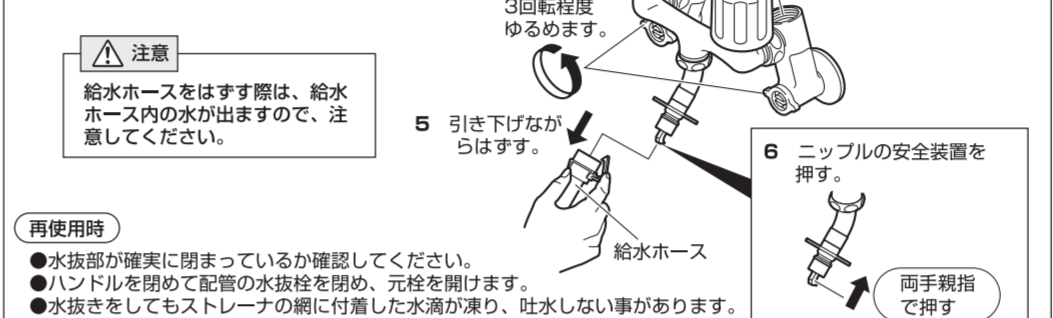
●配管部などに保温材を巻いてください。
●屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
(窓を閉めるなど)

(万能ホーム混合栓タイプの場合)
●水栓より少量の水を出してください。(目安として1分間に牛乳ビン1本程度)
※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

凍結予防について 寒冷地用の場合(水抜き方法)

寒冷地用は寒冷地において配管の水を抜く設備(水抜き栓)とあわせて使用する製品です。
凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

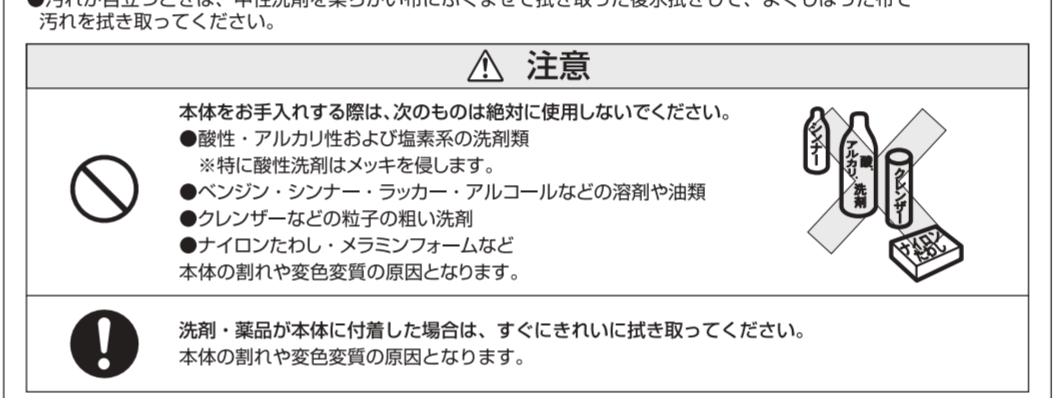
1 元栓を開き、配管の水抜き栓を開きます。
2 湯側・水側ハンドルをいっぱいに開きます。
3 水抜き本体を3回転程度ゆるめます。
4 ストレーナ付逆止弁をはずします。
5 水栓から給水ホースをはずします。
6 ニップルの安全装置を押します。



日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておく、汚れが落ちにくくなる場合があります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

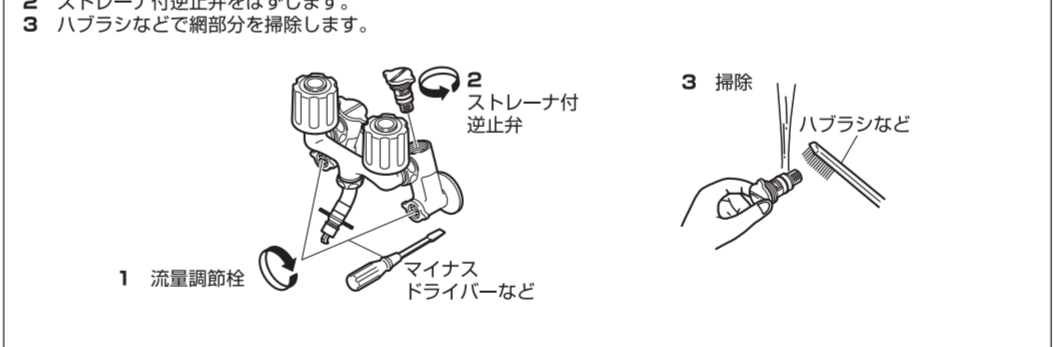
●柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
●汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。



日頃のお手入れ ストレーナの掃除

ストレーナの汚れを放置しておく、十分な機能を発揮できないことがあります。
快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があったり、長期間使用し漏水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

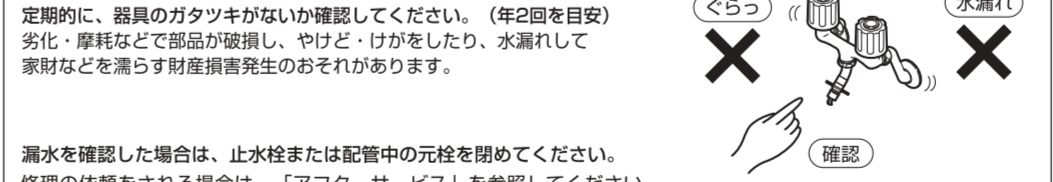
1 流量調節栓を右にまわし、止水します。
2 ストレーナ付逆止弁をはずします。
3 ハブラシなどで網部分を掃除します。



再使用时
ストレーナ付逆止弁が確実に閉まっているか確認してください。

定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

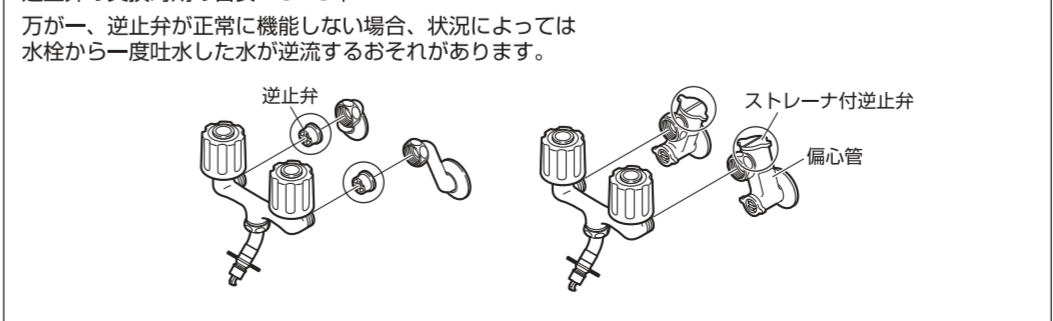
定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)
定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。
修理の依頼をされる場合は、「アフターサービス」を参照してください。

定期的な部品交換 逆止弁の交換時期(逆止弁付の場合)

逆止弁の交換時期の目安：3～5年
万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐出した水が逆流するおそれがあります。



※仕様により、逆止弁が無い場合があります。
※交換時期は、使用環境などにより異なります。
※逆止弁の交換を依頼される場合は「アフターサービス」を参照してください。

こんなときは 故障? その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
流量が少ない	流量調節栓付の場合：流量調節栓は開いていますか。 ゴミつまりはありませんか。	流量調節栓で流量を調節する。参照：流量調節 ストレーナの掃除をする。参照：ストレーナの掃除
高温しかでない	流量調節栓付の場合：水側の流量調節栓は開いていますか。	流量調節栓で流量を調節する。参照：流量調節
低温しかでない	給湯機から湯がきていますか。 流量調節栓付の場合：湯側・水側の流量調節栓は開いていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。 流量調節栓で流量を調節する。参照：流量調節
温度調節がうまくできない	ゴミつまりはありませんか。	ストレーナの掃除をする。参照：ストレーナの掃除
給湯機から湯がきていますか。	オートストッパー付タイプの場合：通水状態ではありませんか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。
ハンドルがまわらない	オートストッパー付タイプの場合：本体内部に圧力がかかっていますか。	ハンドルを閉めてからニップルの安全装置を押して、本体内部の圧力を逃がす。参照：給水ホースの接続と吐水・止水
ホース接手が適合していますか。	ホース接手が適合していますか。	SANEIの給水ホースを別途お求めください。
ニップルから水が漏れる	ホース接手のパッキン部の損傷、ゴミかみはありませんか。	ホース接手のパッキン部のゴミかみがあれば取除き、傷があればSANEIの給水ホースを別途お求めください。

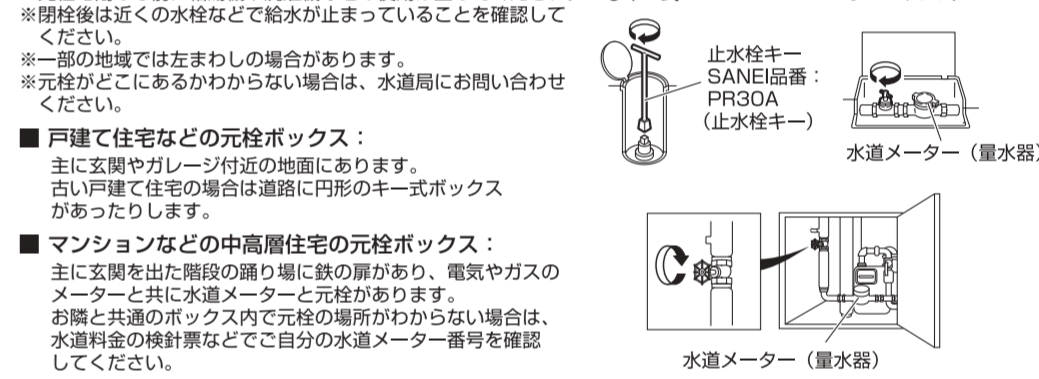
以上の点検を実施されても、不具合がなくなるらない場合はお手数ですがお買上の販売店(工事店)に修理をご依頼ください。
●修理される方は次の表に従って点検してください。

現象	点検項目
ハンドル部から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所部品の交換してください。
止水しても吐水口から水が出る	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。ケレップ部のゴミかみ場合は、器具への給水・給湯を止め、湯側・水側ハンドル部を分解し、ケレップ部のゴミかみがあれば取除き、傷があれば部品を交換してください。



漏水した場合の処置

漏水した場合は、配管中の元栓を閉めてください。



アフターサービス

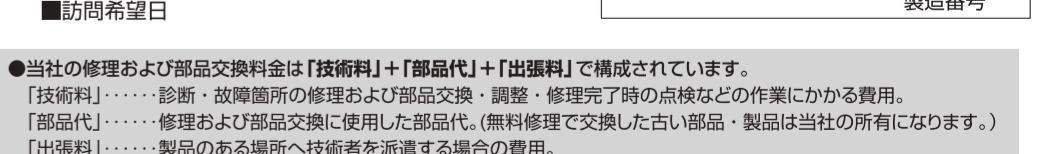
(補修用性能部品の供給期間)
この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

定期点検・部品交換
使用年数
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
お客様による日常のお手入れ・点検
消耗部品の交換
買替えご検討
摩耗劣化部品の交換

方法については、「日頃のお手入れ」・「定期的な点検」を参照してください。

消耗部品とは、使われてなくなっていく部品のことです。
消耗部品の例：コマパッキンなど
摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に磨耗する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。
摩耗劣化部品の例：逆止弁・ハンドル・ストレーナ・パッキン・オリングなど
部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。

(修理の依頼と部品交換の依頼について)
●修理依頼と部品交換依頼先：
お求めの販売店(工事店)又は当社
●連絡していただきたい内容：
■住所、氏名、電話番号
■品番、品名
■お買上げ(お取付け)年月日
■故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
■訪問希望日



●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。
「技術料」…… 診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。
「部品代」…… 修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)
「出張料」…… 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

(部品のご購入や修理の依頼、ご相談は)
●まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

SANEI 株式会社
〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
カスタマーセンター ☎0120-06-9721
受付時間 9:00～17:30(土日祝除く)
ホームページ www.sanei.ltd